

中学一年生 学年の時間 「課題解決のために」スタート

2020年11月4日、中学一年生の学年の時間では、一般社団法人 Think the Earth から 笹尾実和子さんを招いてSDGsについてのお話を伺いました。



2030年、23歳になる中学一年生達は、ちょうど社会へと飛び出していく年齢を迎えます。そのころに、だれ一人取り残さない、持続可能な社会を作ることができるのか。まさに、生徒たちにとって自分自身の切実な問題です。



実際、Z世代と呼ばれる1995年以降に生まれた世代が、環境問題をはじめとして大きな活動を起こしています。学年の時間では先週より、自分たちが真に問題を解決するためのロジカルシンキングを学ぶことから初めて、チームで協力しながらSDGsの目標を達成するための課題解決を考え、それを実践していく取り組みを始めます。

人任せにせず、「自分自身にできることをやる」、これがテーマです。
たとえわずかな一歩でも、みながおこせば大きな一歩となります。

